

# 33 社会福祉法人 恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会加須病院

## 病院の概要

- 医師数 (研修医除く) 77名 (うち指導医数 41名)
- 病床数 304
- 研修医数 1年目4名 2年目6名
- 昨年度マッチング受検者数 44名
- 研修医の主な出身大学 香川大学、群馬大学、千葉大学、筑波大学、東北大学、獨協医科大学、弘前大学、三重大学、山形大学、名古屋大学、信州大学、札幌医科大学、福島県立医科大学、東北医科薬科大学、徳島大学、東京女子医科大学、金沢大学、埼玉医科大学 等
- 診療科 内科、循環器内科、脳神経内科、腎臓内科、呼吸器内科、消化器内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、漢方内科、小児科、外科、呼吸器外科、乳腺外科、心臓血管外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、整形外科、形成外科、麻酔科、救急科、リハビリテーション科
- 1日平均外来患者数 600名
- 1日平均入院患者数 255名
- 主な認定施設 災害拠点病院、地域医療支援病院、災害派遣医療チーム埼玉 DMAT 指定病院、日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、等



## 研修プログラムの特色

2024年度より募集人数を7名へ増員します。研修医のスムーズな業務や当直の開始、院内での意識疎通をはかるためオリエンテーションを濃密な内容へ変更しました。研修医の満足度は高く、2年目の研修医も時間を見つけて参加していました。また救急診療へ重点をおき、救急科3ヶ月を必須としています。Common diseaseをはじめ高齢者救急や重症～軽症の患者を指導医の監督の下で幅広く勉強することが可能です。重症者へは初期対応の道筋を立てられること、中等症以下では初期対応から入院指示まで一人でできることが目標です。特に夜間救急では早くから救急診療や様々な手法に携わることになります。

1年次は医療面接や診療・カルテ記載を学ぶため内科系、救急科、一般外来を中心に研修を開始します。外科手術も理解できるよう外科系診療科も途中でローテーションし、内科系と外科系をバランスよく修得してもらいます。そして病院の状況を十分に理解した2年次に、産婦人科、精神科、地域医療と他施設での研修を行うことで、病院ごとの違いも体験していただけます。

## プログラム例 済生会加須病院臨床研修プログラム (募集定員7名)

	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
1年目	オリエンテーション	内科	麻酔科	救急科	内科	外科	内科						
2年目	救急科	精神科	産婦人科	地域医療	小児科	選択科							

- 1年次 ①内科研修 (循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、糖尿病内科、脳神経内科、血液内科の中から) 36週以上必修  
②外科研修 (外科・脳神経外科・泌尿器科・整形外科の中から) 8週以上必修  
③救急・麻酔科研修 (救急外来・夜間救急・集中治療室・麻酔科 (手術室)において) 8週以上必修
- 2年次 ①救急科研修 8週以上必修 ②小児科研修 4週以上必修 ③精神科研修 (協力型病院において) 4週以上必修  
④産婦人科研修 (協力型病院において) 4週以上必修 ⑤地域医療研修 (協力施設において) 4週以上必修  
⑥選択科研修 (当院診療科の中から) 2週以上の自由選択研修

## 研修医の処遇

- 給 与 1年次 (税込) 約540万円/年 2年次 (税込) 約630万円/年  
※賞与・当直手当を含むものとする。
- 諸 手 当 住宅手当・時間外手当・通勤手当など
- 保 険 組合健保 (組合名: 埼玉県医師会健康保険組合) 厚生年金保険 雇用保険あり  
労災保険あり 医師賠償責任保険 (病院において加入)
- 勤務時間 9時00分～17時30分  
当 直 あり (4～5回程度/月)
- 休 暇 土曜日・日曜日・祝日・年末年始 (12/29～1/3)・有給休暇  
1年次10日間 (夏季休暇含む) 2年次17日間 (夏季休暇含む)
- 宿 舎 あり 単身用ワンルームを有償貸与
- そ の 他 職員用駐車場あり

## 主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・ 久喜すずきの病院
- ・ 済生会鴻巣病院
- ・ 東京女子医科大学病院
- ・ 済生会川口総合病院
- ・ 獨協医科大学埼玉医療センター
- ・ 若手県済生会岩泉病院
- ・ 済生会今治病院
- ・ 相沢内科医院
- ・ 中田病院
- ・ ふたば在宅クリニック 他

## 当院の魅力

### 豊富な症例を丁寧に経験できる当院へ

当院は埼玉県の北東部に位置し、7市2町からなる利根医療圏に属しています。当地域は医師偏在化指数において最も低い地域であります。当院はそん中で中核病院として地域医療の最も重要な担い手です。従って、あらゆる疾病をその最初から治療による変遷、効果まで見届けることのできる環境にあります。勿論臨床研修では一人ひとりの患者さんの病態生理にどれだけ肉薄できるかが問われていますから、上級医と議論しながらかこのプロセスをどれだけ深化させられるかが重要です。当院ではそれが可能です。手技的な習得は本人の積極性にもよりますが、救命救急センターも設置していますのでCVカテーテルの挿入や挿管等は基本的なこととして習熟できるでしょう。また地域医療や選択科でも研修医の希望を取り入れて、研修先を拡充してきましたので、さらに様々な経験が積めると思います。研修医からのアイデアや希望で各科医師との茶話会や抄読会も行われるようになりました。当院では皆さんの要望にフレキシブルに対応できるようになっていますから、自分達で研修をより充実したものにすることが可能です。研修の成果は、院内をはじめ様々なところでの症例発表として報告しています。他流試合が皆さんをさらに磨き上げるでしょう。できれば英語論文作成までいけるように期待しています。皆さんのいらっしゃるのを心待ちにしております。



## 研修責任者からメッセージ



速水 宏樹  
プログラム責任者  
臨床研修管理委員長

2022年度は病院移転、救命救急センターの稼働と病院が大きな飛躍をした年であり、きれいな病院で活気がさらに湧いております。臨床研修も教育体制の充実とともに、洗練されてきています。毎週の勉強会は研修医自身が内容を決定し、研修センターがサポートする体制をとっています。

研修医の要望に応じて昨年は『骨折の固定法』を行いました。『骨折の固定法』を行いました。研修医の意見を毎年反映させたオリエンテーションも用意しています。研修の主役として研修医自身の意見が反映されやすいことは当院の特徴です。うれしいことに見学者も志願者も年々増えてきております。ぜひ当院に入学に来てみてください。お待ちしております。

## 先輩研修医からメッセージ



高橋 秀匡  
研修医2年目

私は将来、外科系に進みたいと考えていたので、志望する専門の知識を深く学びたいという思いと、研修医の今だからこそ、いろいろなことに触れて経験を積みみたい、という二つの思いで研修病院を探していました。当院は救命救急センターも開設し、Common Disease から希な疾患まで幅広い症例をみられて、また、各科専門的治療を行っているので、研修期間に各科の特性にも触れられることがとても魅力的でした。希望する研修条件や見学の病院の雰囲気など、自分の性格に合っていると選びました。実際の研修では4月の段階でCVの挿入を経験できたり、内視鏡に触れたり、上級医の先生のもとで実践的に学ぶことができました。看護師さんをはじめ、メディカルスタッフの方々も優しく、検査技師さんに教わった内視鏡の使い方はとても勉強になりました。病院全体で私たち研修医を大切に育ててくださっていることを実感しています。休日はしっかり休めて、オンコールや残業もほとんどありません。その分勉強やプライベートの時間をしっかり確保できて、先日は上級医の先生と一緒に趣味の釣りに行きました。病院見学にいらした際は、ぜひ当院の雰囲気を感じ、ここで研修をイメージしてみてください！



勝見 大誠  
研修医1年目

あなたにとって理想の初期研修とはどのようなものでしょうか。幅広い診療科での実践経験、大学では教わらない手技の習得、教育熱心な上級医、柔軟な研修プログラム、充実した院内設備、自主学習や休息に当てられる休日…など、人によって様々な考えがあると思います。当院の初期研修では、これらに全て応えることができます。どのような将来像を持った方でも、確実に未来へ繋がる研修を行うことができる研修病院だと思います。私にとっての理想は、温かな雰囲気の中で研修を行えることです。私がこの研修病院を志望した最大の理由は、見学で雰囲気や温かさを強く感じたことでした。実際に研修を行ってみると期待していた以上に和やかな雰囲気です。失敗も多い毎日ながら充実した研修を送っています。あなたにとっての理想を、ぜひ当院の病院見学で見つけていただけたら嬉しいです。

## 女性医師支援コーナー

当院女性医師の声～当院で働くメリット～  
①嘱託医でも、専門外来を受け持つことができます。  
「当院には、嘱託勤務制度があり、一般の医師より少ない勤務日数で働くことが可能で、当直等も免除されます。専門医を取得し、子育てと仕事をうまく両立しています。」  
②院内保育所を完備しており、病児保育も利用できます。  
「当院には、院内保育所があり、病気の時でも子どもを預かってくれるので、安心して働けます。」  
③転勤ができません、同じ患者を長期間にわたって継続して診ることができ、  
「糖尿病のような慢性疾患は、長期間、継続して診ることに意味があると思うので、中断されずに担当できます。」  
④産休、育休が取りやすいことや、急に出動できない時に手厚いフォローができます。



## 病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時行っています。まずは電話やメールで、お気軽にお問い合わせください。

- 連絡先 埼玉県済生会加須病院、臨床研修センター 事務局  
住所 〒347-0101 埼玉県加須市上高柳 1680 番地  
TEL 0480-70-0888 (代表)  
FAX 0480-70-0889  
E-mail rinkin@saikazo.org  
URL https://www.saikazo.org/  
アクセス 東武伊勢崎線加須駅南口から徒歩で約10分

